

岩崎民平 いわさき たみへい 英語學者。明治二十五年十一月十八日山口縣徳山生れ、昭和四十六年六月二十九日歿（八九—一九七二）。東京外國語學校を卒業後、東京帝國大學專科生として市河三喜の講義を受く。卒業後大正十一年母校外語教授、留學して昭和二年歸朝。二十四年東京外國語大學教授、二十年學長就任。『研究社新英和大辭典』（第二版・昭和十一年刊）等の辭書編纂で有名。また初期著作の『英語の發音と綴字』（大正八年刊）は名著と評せられ、文檢（文部省中等教員檢定試験）の指定参考書ともなつた。

歿後『岩崎民平文集』（昭和二十年六月二十九日研究社）刊。譯書に、リットン・ストレーチイ著『ナインティンゲール評傳』（昭和十四年十一月）白實業文館本社）、ジヨージ・ミケシユ著、ニコラス・ベントレー画『おかの英米拝見』（ひめさき出版）みへい名、昭和二十二年二月二十五日研究社出版株式會社）がある。

